

対 策 計 画 書

届出者	住所	東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower4階	氏名	株式会社モスフードサービス 代表取締役社長 中村 栄輔
特定事業者の主たる業種		76飲食店		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		フランチャイズチェーンによるハンバーガー専門店「モスバーガー」の全国展開・その他飲食事業など ※店舗のエネルギー量を時間計算する手段がありません。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		4,543 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		5,214 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		4,543 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		5,214 t-CO ₂	
選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %
目標削減率に関する考え方 当社は、飲食店を中心として事業活動を行っていることから、本計画書では、売上高を母数に排出原単位を設定し、エネルギー使用量を毎年1%削減(売上百万円あたり)する目標を掲げています。ただし、売上高のない管理業務のみの事務所に関しては床面積を、自動車に関しては台数をそれぞれ排出原単位に設定します。			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	(売上高)
店舗では売上高を、事務所では敷地面積を、自動車に関しては自動車台数を、それぞれ原単位の分母として、重み付け合算により分母を求めています。	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

事業活動全体で温暖化対策に取り組むため、環境マネジメントシステムを導入。全店での月次計測体制と集計、店舗へのフィードバックの仕組みを構築済みです。
